

2024年度読んだ本リスト

No.	日付	タイトル	著者	コメント
001	11/18	英単語学習の科学	中田達也	「英単語を覚える」ことは「英単語の和訳を覚える」ことと必ずしもイコールではありません。
002	11/19	ゆっくり味わう英文法	西きょうじ	悲しみは疾走する、涙は追いつけない
003	11/23	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	反逆と報復の反復の果てに何があるのか
004	11/24	痩せない豚は幻想を捨てろ	テキーラ村上	ダイエットの成果は「体重」ではなく自分の「行動」で評価せよ。
005	11/24	話し合いの作法	中原淳	質問とは「プレゼント」である
006	11/26	私たちはなぜ、学び続けるのか	池上彰	荒波打ち寄せる社会によろこそ。
007	12/03	世界で一番やさしい会議の教科書	榊巻亮	フレームワークを使うことが目的になっていやじゃないか？
008	12/06	世界で一番やさしい会議の教科書実践編	榊巻亮	「～すること」を目的としない。どのような状態に変化したいかを自問せよ
009	12/08	読みたいことを、書けばいい。	田中泰延	あなたはゴリラか？まず人間になることを考えよう
010	12/09	あの日、選ばれなかった君へ	阿部広太郎	選択にこそ自分らしさが宿る
011	12/09	書けないんじゃない、考えていないだけ。	かんそう	秘すれば花
012	12/09	読書は1冊のノートにまとめなさい	奥野宣之	「忘れてもエッセンス」が残るは、こうあってほしいという願望にすぎない。安心するための方便であり、ご都合主義だ
013	12/09	スピーチや会話の「えーっと」がなくなる本	高津和彦	自分が使う語彙において「えー、あー」以外のフィラーが何であるか特定する

No.	日付	タイトル	著者	コメント
014	12/10	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2	ブレイディみかこ	自分の息子がジョン・レノンの名前を間違えたという事実にわたしはとっさには対峙できなかった。12年間の養育法はすべて間違っていたのかとさえ思った。
015	12/10	超ファシリテーション力	平石直之	グループトークは大縄跳びのようなもの。みんなが輪に入りやすい空気を大切に。
016	12/11	言葉のアップデート術	小竹海広	言い方に迷う人は、いい人だ。
017	12/11	メモの魔力	前田裕二	言語化の第一歩は自分の心に「なぜ」を向けること
018	12/11	amazonのすごい会議	佐藤将之	自己満足で会議を開いてはいけない
019	12/12	ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた	佐藤文香	経験を共有することそれ自体がエンパワーメント
020	12/12	「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし	加藤圭木	連累(れんるい)で知るということ
021	12/12	ひろがる「日韓」のモヤモヤとわたしたち	加藤圭木	そんなことよりと思えてしまう自分のマジョリティとしての特権性
022	12/12	大学生がレイシズムに向き合って考えてみた	貴堂嘉之	「黒人の俳優がスネイプ先生を演じることへの批判」にどんな問題が含まれるか。「差別の意図はない」ということにどのような無自覚の偏見があるのか。
023	12/13	ライティングの哲学	千葉雅也 山内朋樹 読書猿 瀬下翔太	世界はあげられないけれど、この百科全書は世界地図だ
024	12/13	アウトライナー実践入門	Tak.	「考えてから書く」のではなく、「考えながら書く」あるいは「書きながら考える」
025	12/14	天才による凡人のための短歌教室	木下龍也	短歌は過ぎ去った愛を、言えなかった想いを、見逃していた風景を書くのに適している。
026	12/15	やわらかい頭の作り方	細谷功	数字はアイデア貧者のよりどころ
027	12/15	あなたのための短歌集	木下龍也	死者たちは重石をくれる大切なあなたが追ってこないように、と
028	12/15	よくわかる文章表現の技術1	石黒圭	無意識化された日本語の意識化

No.	日付	タイトル	著者	コメント
029	12/15	メイキングオブ勉強の哲学	千葉雅也	勉強は、制作へと拡張される
030	12/15	問題解決大全	読書猿	問題解決を学ぶことは意思の力を学ぶこと
031	12/16	すべてはノートからはじまる	倉下忠憲	とある鎮痛剤の半分はやさしさでできているようですが、私の幸せのほとんどすべてはあなたでできています。
032	12/16	絶対内定2026自己分析とキャリアデザインの考え方	杉村太郎	抽象化で上位概念を探る
033	12/18	最強のプレゼン5分間で聞き手の心を動かす技術	小峯隆生	パワポに頼るのは他力本願
034	12/18	ロジカルシンキングを鍛える	細谷功	「なぜ？」はなぜ特別なのか？
035	12/18	アイデア大全	読書猿	ルビッチならどうする？
036	12/19	こどものためのハムレット	ロイスバーデット	To be, or not to be, that is the question
037	12/19	20代で人生が開ける最高の語彙力を教えよう	千田琢哉	愛は手に入れて終わりではない。言葉の栄養で根気よく育てていくもの
038	12/19	日記の魔力	表三郎	こんな生活を続けて、私に何が残るのだろう
039	12/19	就活生のための作文・プレゼン術	小笠原喜康	非論理的に、あくまで非論理的に
040	12/20	ロジカル・プレゼンテーション	高田貴久	
041	12/21	知的生産の技術	梅棹忠夫	しかし人間は、あまりすきではないことでも、していることがたくさんあるものだ
042	12/22	ルネサンスの世渡り術	壺屋めり	熱心な画家たちがたくさん仕事をしているのだから、1人ぐらい何もいない者がいてもよいのです。彼らの仕事が減らないようにね。
043	12/23	名文どろぼう	竹内政明	ネクタイを上手に締める猿を飼う
044	12/24	学習物理学入門	橋本幸士	物理学と機械学習の垣根を越えて
045	12/24	問題発見力を鍛える	細谷功	問題は偏在であるという定義

No.	日付	タイトル	著者	コメント
046	12/25	具体と抽象	細谷功	教科書なんか読んでいる間に、エサを捕る実践訓練をすればいいのに
047	12/25	世界で一番やさしい資料作りの教科書	榊巻亮	パワポを書き始めるのをいかに遅くするか
048	12/25	ひとりの夜にあなたと話したい10のこと	カシワイ	もう今はそこにはないかもしれない光遠くを見つめることは過去を見つめること
049	12/26	知的複眼思考法	苅谷剛彦	
050	12/27	数学の女王	伏尾美紀	人生は直線より線分の方が生きやすい
051	12/27	バナナの魅力を100文字で伝えてください	柿内尚文	二重人格は素敵だ
052	12/27	ゴリラとオオカミ・ヤギとゾウのお話	山極壽一 きむらゆ ういち 林家木久扇	本能を押さえこんで、初めて友情が成り立つ関係(あらしのよるに)
053	12/27	性の進化史	松田洋一	チンパンジーとゴリラの睾丸はどちらが大きいのか?
054	12/27	子宮頸がんワクチン問題	メアリー・ホーランド	予防のためには多少の犠牲はやむをえないのか?
055	12/27	TAKE_NOTES!	ズンク・アーレンス	ある概念を理解しているかどうかは、入門講義ができるかどうかで決まる
056	12/27	世界一楽しい決算書の読み方	大手町のランダムウォーカー	バフェット・コードを見る
057	12/27	日本一短い手紙私へ	一筆啓上	お前の大きな財産の一つは、いじめの痛みを知ってることだ
058	12/28	下駄箱のラブレター	並河進	渡せなかったラブレターにも意味はある
059	12/28	英語monogrammar動詞	お茶の水ゼミナール	英語はどのような仮定からはじまっているのか
060	12/28	遅考術	植原亮	まずは一旦否定してみる
061	12/29	ジェンダー格差-実証経済学は何を語るか	牧野百恵	仮説に対しどのような検証が可能か

No.	日付	タイトル	著者	コメント
062	12/30	緊張して話せるのは才能である	永井千佳	10回の練習より1回の録画
063	12/31	レトリックと詭弁	香西秀信	人間は本質的に論理的な生き物である。だからこそわれわれは、論理的に説得されることを好まないのである。